

第4回読書のまちづくり市民ワークショップ開催結果概要

日 時 : 平成24年6月28日(木) 18:00~20:45

会 場 : 市立図書館会議室(恵み野西5-10-2)

参加者 : ワ-クショップメンバ- 8名
ファシリテ-タ- 2名
傍聴者 1名
事務局 8名



開 会

テーマ

「条例の理念・目的につながるキーワード抽出」

「取り組みの担い手が役割を果たすために」

グループ討議

最初のテーマはA・Bの2つのグループ、次のテーマはA1・A2・Bの3つのグループに分かれ、ファシリテーターを中心にテーマに沿ってワークショップを行いました。

テーマ「条例の理念・目的につながるキーワード抽出」

～前回話し合った「読書のまちを実現させるために必要なこと・大切なことは何か」の中から条例の理念・目的になるものを抽出～

Aグループ発表

メンバー間で、「理念」とは抽象的なもの・条例の基本となる考え方・背骨だと確認してから話し合いました。理念は、「家庭」が「郷土愛が生まれる」、「学校」が「人間形成～未来を担う社会人を育てる」、「行政」が「公共図書館の殻に閉じこまらない柔軟さ」、「家庭・学校・市民」が「読書で夢とロマンと勇気思考、知識力、想像力、力が育つ」、「つなぐ人とつながる人は地域と地域をつなぐ」を選びました。理念のキーワードを「人を育てる・人間を形成する・郷土愛」としました。また「目的」のキーワードは「つながりをつくること・場所をつくること・成長させること」です。

Bグループ発表

「コミュニティ」「人とのつながり」が「理念」となるのではないかと話し合いました。今回の条例では、本を読んで知識を得ることからもう一歩進み、「つながり」「コミュニティ」「郷土愛」といったものを取り入れ、更に先を行ったものを作り、最後は「郷土愛が生まれる」ということでまとめました。



テーマ「取り組みの担い手が役割を果たすために」

～「家庭」「学校」「市民」「行政」「その他」の5つの取り組みの担い手の中から1グループにつき2つ選び、実現のための具体例を掘り下げる～

A1グループ

「学校」 人間形成～未来を担う社会人を育てる

- ・市内の学校は学年ごとに に取り組むという位置付け
- ・教育課程の中に読書を明確に位置付け
- ・他人を理解する取り組み～集団読書
- ・継続していく事で本物の力が培われる～創刊50周年になる十勝の子どもたちの詩を集めた「サイロ」
- ・想像力を育む取り組み～夢とロマンと勇氣
- ・調べる学習コンク - ル～読み取る力を培う必要性

「行政」 市内のいたる所で本が借りられるブックステ - ションの整備（分室）

公共図書館の殻に閉じこもらない柔軟さ（市民の立場）

- ・図書館以外にも本を借りられる場
- ・市民の知恵を出し合えば場づくりは可能
- ・課題を想定してどうクリアできるか考えることが必要
- ・場づくりを考える場（市民と行政）～例えば自治公民館など
- ・場自体が市民（ボランティア）の交流の場になる～例えば高齢者と子ども
- ・コミュニケ - ションの場をつくるのが大切

発表

「学校」では、思考・想像力以外にもコミュニケーション力、人の言うことを理解する力、自分の意見を言う力を育てることが大切です。教育課程に読書を位置づけ、授業の中で取り組むとよいのではないのでしょうか。先生方の協力が必要ですが、文章を読む力や感想を言い合うことで交流が生まれますし、読解力も育ちます。子どもた

ちは本を読んでいるようですが、自分だけで読み、理解し、感動している状態にとどまり、親や友達とのコミュニケーションが足りないように思います。コミュニケーション力の育成は大切ですので、このような環境がどの家庭でもあればよいのではないのでしょうか。教育課程の要領に「教科指導」「道徳指導」「特別活動指導」「総合的な学習の時間」の4つがありますが、



この中に必ず読書の考え方をきちんと位置付け、全体として学年ごとに行うことを明確にすれば、恵庭は全国でも特異な読書のまちになると思います。

「行政」では、市民が知恵を出し合えば図書館以外でも本を借りられる場をつくることは可能ではないかと話し合いました。市民意見も取り入れる機会を持ち、運営に市民ボランティアが参加するなど工夫し地域の交流が深まるようにします。また学校の空き教室を開放し本の貸し出しも行うなどを課題を整理して取り組んでほしいところです。ブックステーションは分館施設の要素を持たせ、地域の人の本を読める場に、「家読」を進めても家族と本を読める状況にない子もいるので放課後にその地域の図書館が親代わりを担うことも可能ではないのでしょうか。目的を広げ期待値を広げていくことが行政の姿勢の大事なポイントではないかと思えます。

A 2 グループ

「市民」 ブックスタ - トから生涯まで長いスパンで！

思考・想像力以外にもコミュニケ - ション力

- ・大人に対するアプロ - チ ~ 多様化による複雑さ
- ・読書の入口を広く軽く
- ・子どもから親へ ~ 今の恵庭の子どもたちは本が情報源
- ・読後のがんばった感
- ・コラボシリ - ズ ~ マッサ - ジ・針灸、目のケア・眼科など
- ・一冊の本 共有の議論 (ビブリオバトル・アニマシオンなど)
- ・コミュニケ - ションはネットではなく人と話す ~ 本について胸を張って語れる場
- ・子どものコミュニケ - ション力をつける
- ・読書量ではなく多くの分野・作品を！ ~ 他者の考えを知る ~ 人間形成の糧になる
- ・本 議論 判断力をつける

「行政」 老若男女・健康な人もそうじゃない人も障害のある人もない人も恵庭市民
皆が集う --- 集いたくなる図書館

ブックスタ - トから生涯まで長いスパンで！

- ・図書館に行くと人に出会える

- ・図書館だけが読書じゃない！
- ・条例は市民全体のもの 読む人も読まない人も
- ・読書イコ - ル小説ではない！
- ・人生の節目 後押し 長いスパンで関わり
- ・ブックスタ - ト 形で与える 機会と場を与える 親世代の入口にもなる

発表

「市民」では「子どものコミュニケーション能力をつける」が必要と感じ、そこからすべてがつながりました。多くの分野や作品を読み、知識を広げ、他者の考えを知り、幅広い知識を身につけることは人間形成の糧になります。読んだ本について人と共有しあうこと、本を読み議論して判断力をつけることはとても大事なことです。「ビブリオバトル」「アニメーション」などゲーム感覚で



取り組む方法に取り組んではどうでしょうか。また、テレビ・映画などのメディアは感動しますが、観る側の努力は不要です。一方読書は読み手自身がエネルギーを発するので読後感が生まれます。これを味わうことで読書力がつくと思います。そのために読書の入口を広くし、子どもはその環境が整備されているので大人に対するアプローチが必要です。

これが「行政」につながります。ブックスタートで親世代への読むことへのアプローチは生まれています。図書館だけが読書ではありませんし、条例はすべての市民ものなので、読む人も読まない人もといったことを取り入れてもらいたいです。図書館は本だけでなく人と出会えるところでもあるからです。そして「子どもから親」も大切で、「お父さん、こんなのも読んでないの」と言われたら親も読もうかなと思います。今の恵庭の小中学生は読書習慣や図書館で調べることが身につけていると聞きましたが、大人もうかうかしていただけないと話しました。

Bグループ

「家庭」 ブックスタ - トから生涯まで長いスパンで！

- ・家族のお出かけ場所に図書館
- ・親と子どもと一緒に本を選ぶ
- ・お父さんも積極的に読み聞かせを！！
- ・おじいちゃん、おばあちゃんとのコミュニケ - ションツ - ルとしての図書
- ・本をプレゼントし合う日を人生の節目に
- ・企業の取組～社長が従業員に向けて

- 「学校」 図書ボランティアの活動を通して、学校・保護者・地域が協力し合える
 - ・司書、ボランティアの資質向上
 - ・子どもの読書意欲向上のための取り組み
 - ・ボランティアの研修交流の場の確保
- 「その他」 つなぐ人とつながる人は地域と地域をつなぐ
 - ・「えにわが選ぶ本」の企画開催 選ぶのは市民 開催は企業と行政

発表

「家庭」では「ブックスタートから生涯まで長いスパンで」を掘り下げました。図書館を知らないまま大人になる子どももいると思うので、図書館を家族のお出かけ場所とし図書館利用を習慣づけるのはどうかと話し合いました。また親が子どもに読ませたい本と子どもが読みたい本が違うことがあるので、一緒に選ぶことでお互いの理解を深めることができ



できると思います。読み聞かせは男性の声に合っている作品もあるので、お父さんも積極的に休日などに取り組んでもらいたいです。また、おじいちゃんやおばあちゃんが孫に絵本を読んであげることが図書館利用のきっかけになり、本がお互いに楽しめるコミュニケーションツールになるのではと思います。

年に1回本をプレゼントする恵庭市民の日などを設定し企業参加で開催したり、「えにわが選ぶ本」などを市民参加で開催してはどうでしょうか。「学校」では学校図書館司書やボランティアのスキルアップ、子どもの読書意欲を高める取り組みが必要だと話し合いました。

まとめ（ファシリテーター）

時間が押してしまい、今回予定していたテーマが2つ残りました。まず、市民が1つの意識を持って取り組む日を設定するとしたら、どのような行動を行えばよいか、名称含め恵庭らしいものを考えてもらうこと。次に、条例のエッセンスが十分話し合われいよいよ条例ができ上がるところにきているので、恵庭らしい条例の名称を考えてもらうことの2つです。次回のワークショップまでの宿題としますのでよろしくお願いします。本日はありがとうございました。



閉会